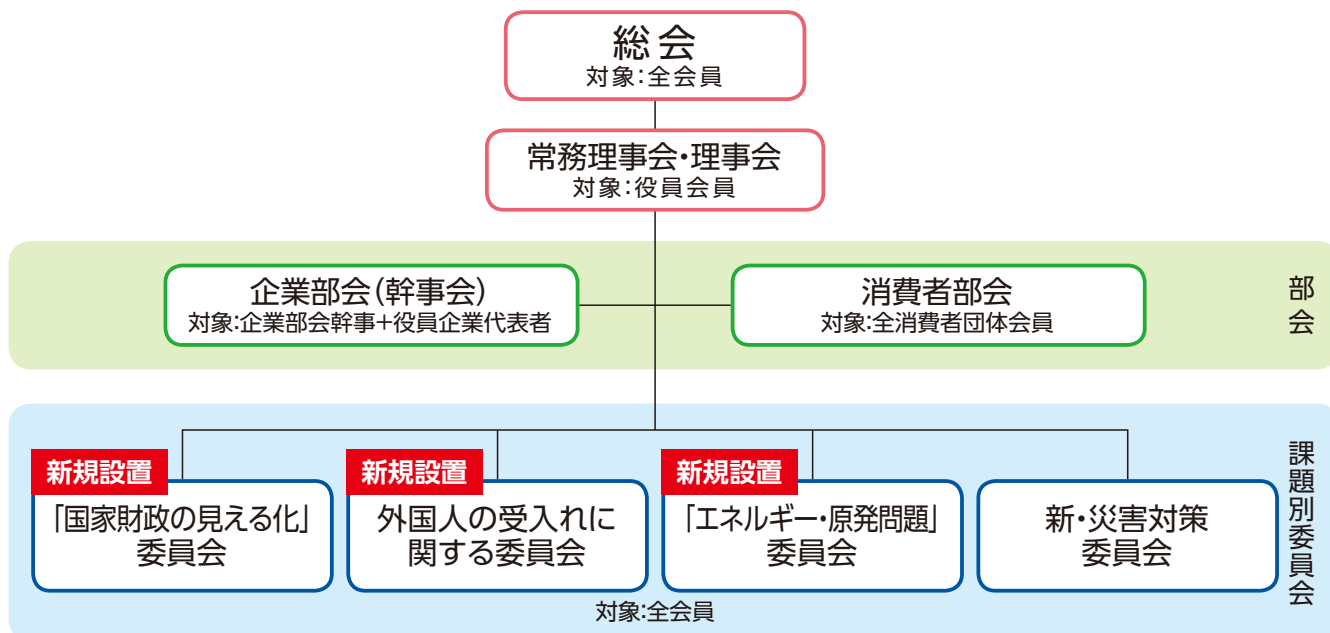


# 「課題別委員会」新設

生団連では、議論をさらに深めていくために、昨年11月に開催された理事会での承認を経て「国家財政の見える化」「外国人の受入れ」「エネルギー・原発問題」の「課題別委員会」を新たに設置しました。今後は委員会を中心に各重点課題の活動を本格化してまいりますので、ぜひ会員の皆様の積極的なご参画をお願いいたします。



## 「国家財政の見える化」委員会

生団連では、国家財政の不透明さが、将来不安につながり、現在の消費抑制を招いていると考え、「国家財政の見える化」を重点課題として取り組んでいます。まずは国民に対し、透明性の高い財政運営を実現するために、政官等、関係各所へ働きかけを行っています。この動きを進めながら、さらに今後は、より具体的な財政運営のあり方や政策の是非についても議論を深めてまいります。



## 外国人の受入れに関する委員会

直近の国会にて、入管法の改正が成立しましたが、生団連は「労働力不足」への対応だけでなく、「生活者としての外国人」の受入れを進めなければならないと考えています。生団連内での議論を深め、「受入れのためのきめ細かい制度設計」や「教育、社会保障なども含めた生活者としての環境整備」を関係各所に訴えていきたいと考えています。



## 「エネルギー・原発問題」委員会

生団連では、生活に関わりの深い「エネルギー・原発問題」を議論すべき国民的課題と位置付け、各会議における議論や事務局による現地調査活動を行ってきました。今後、エネルギー安全保障や環境負荷など様々な観点からも、わが国のエネルギー政策について、議論を深めていきたいと考えています。



様々な現場に足を運び、情報収集、実態把握を行ってまいります。